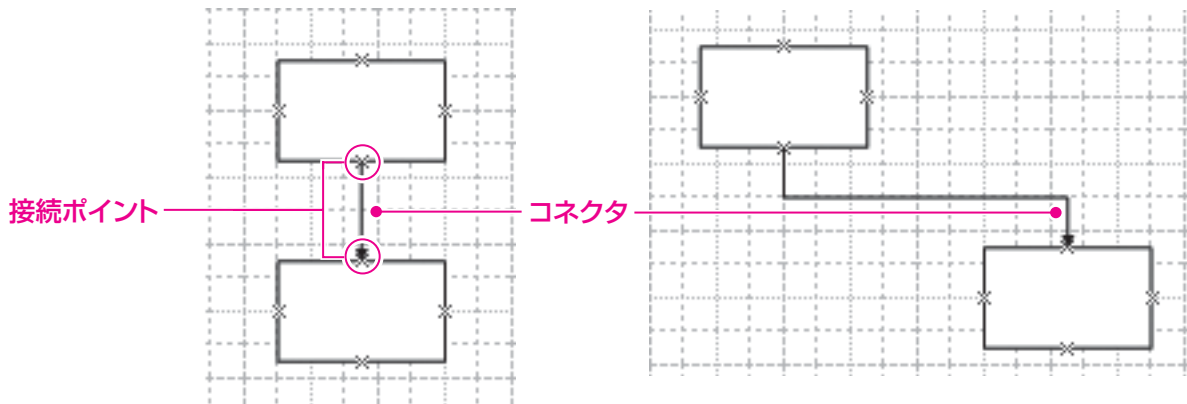


## 1 接続ポイントと接着

図形の上下左右に表示される青色の×を「**接続ポイント**」といいます。接続ポイントにコネクタを接続することを「**接着**」といいます。コネクタによって図形と図形が接続されます。一度接着すると、図形を移動したときにコネクタの長さや形は自動的に変わります。



## 2 接続の種類

図形の接続には次の2つの種類があります。

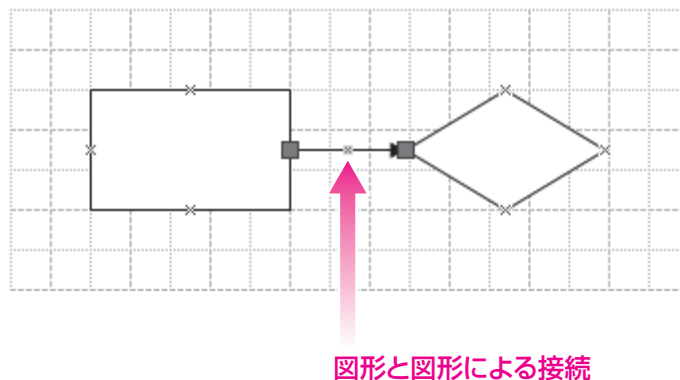
- 図形と図形による接続
- 点と点による接続

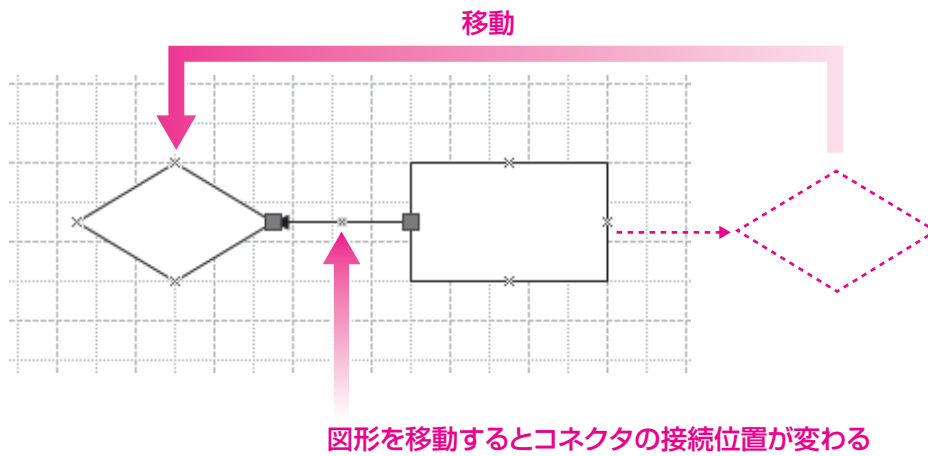
### 1 図形と図形による接続

コネクタの両端は特定の接続ポイントではなく、図形全体に接続されています。コネクタは、互いの図形の最短距離を結びます。そのため、図形を移動した場合にコネクタの接続位置が変更されることもあります。

図形と図形による接続は、コネクタの両端が■で表示されます。

オートコネク機能を使って図形を配置すると自動的に図形と図形による接続になります。







図形を移動するとコネクタの接続位置が変わる

## 2 点と点による接続

コネクタの両端は、ある図形の特定の接続ポイントから別の図形の特定の接続ポイントに接続されています。そのため、図形を移動してもコネクタが接続されている接続ポイントは変更されません。

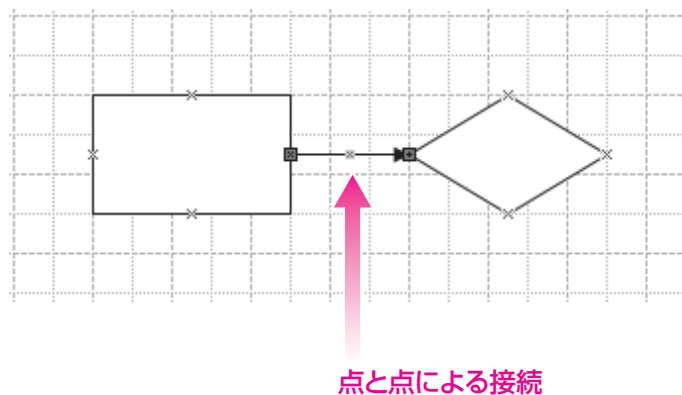
点と点による接続は、コネクタの始点が 、終点が  で表示されます。

点と点による接続は、 (コネクタツール) を使って作成します。接続の作成方法は次のとおりです。

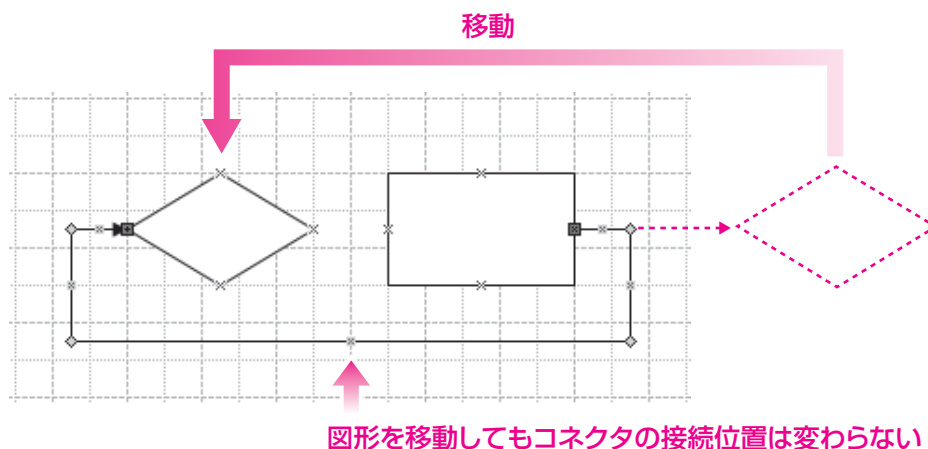
◆ボタン:  (コネクタツール) → 始点となる接続ポイントから終点となる接続ポイントまでドラッグ

※  (コネクタツール) をクリックすると、マウスポインタが  に変わります。

※コネクタツールを解除するには、 (オブジェクト選択ツール) をクリックします。



点と点による接続



図形を移動してもコネクタの接続位置は変わらない